

## 【説明資料】

あなた一人で、  
手抜きでできる  
「元に戻らない  
現場改善」

楽々改善舎

# 【1】現場改善が進むと…

## ◆現場改善が進むのは、気持ちが良い

- ・どんどん現場が変わっていきます。
- ・改善のアイデアは、つきることがない

## ◆改善が停まってしまうのは、とても怖いこと

- ・工場の責任者の交代や方針の変更によるもの
- ・最悪なのは、改善前に戻ること

## ◆現場改善は、継続することが一番重要

- ・現場の人が現場のために進めていくことが最も重要
- ・工場が儲けたお金を、現場のために使って欲しい

## ◆「改善」はお金をかけず、知恵を出して行うこと

- ・「改良」とは、お金をかけて行うこと。機械やレイアウトの「改良」

## 【2】元に戻らないためには？

### ◆現場改善が元に戻らないためには？

- ・経営TOPが率先して進める方法
- ・現場のあなたが現場改善を継続的に進める方法

### ◆「現場改善のムダ」とは？

- ・企画書の作成。効果の目論見と推進スケジュール
- ・上司の決裁を受け、企画書を修正
- ・報告書の作成、報告会で発表～追及
- ・「手抜き」で現場改善を行う ⇒ 「楽(らく)に」

### ◆人が継続して何かをしようとするためのモチベーションは？

- ・楽しい＝自分で考えて、自分でやってみて、「上手いく」こと
- ・嬉しい＝上手いかない⇒自分で工夫⇒苦労しながら上手いく

### ◆楽に楽しい現場改善を「楽々改善」と呼んでいる

# 【3】まずは改善をスタートしましょう

◆一人で現場改善を進める ⇒ いつでもスタートできる

- ・プロジェクトで現場改善を進める  
企画から決裁、そして、人選をしてキックオフ…  
スタートできるまでに、大変なパワーが必要
- ・「楽々改善」では、あなたがやる気になれば、即スタートできる

◆最初は、簡単にできそうなところからスタートするのが良い

- ・品質管理(QC)では「PDCAを回す」ことが重要だと言われる
- ・Pはプラン、Dは実施、Cはチェック、Aはアクション  
計画して実施、評価を行い、まずいところを良くするという活動
- ・PDCAを一巡させると、一つの改善が出来たということ
- ・現場改善も同じ。「現場改善のPDCA」を何回も回すことが重要
- ・小さなPDCAを早く回して、少し大きなPDCAに行うのが良い
- ・まずは身近なところで簡単にできそうなところからスタートすべし

# 【4】改善前の状態を記録しましょう

## ◆改善前の状態を記録するのは？

- ・どんどん現場が変化していくため
- ・毎日、少しずつ変化し、日常の景色になっているため気づかない

## ◆改善前の状態を記録することが重要

- ・簡単なのは写真を撮る ⇒ スマホで簡単に撮れる
- ・工場が所有しているデジカメで撮影すれば、問題ない
- ・ムダがありそうなところを全て撮影しておく
- ・改善前の写真は、2度と撮れないから

## ◆もし可能であれば、動画で作業を撮っておく

- ・ビデオカメラでなくても、デジカメやスマホで簡単に撮影できる
- ・撮影する目的は、あなたの実施した改善を分かりやすくするため
- ・2～3か月は見ない ⇒ びっくりする位、変わっている

# 【5】改善の目標を決めましょう

## ◆目標を設定する ⇒ 現場改善の作戦を練る

- ・最初に、どこを改善したいのかははっきりさせる
- ・「どこがやりにくいか？」と、いうことを明確にする
- ・やりにくいところに「ムダ」がある

## ◆「ムダ」をなくすことが目標

- ・改善前の写真と作業時間の結果から、目標を紙に書いてみる
  - ・あなたの作業が楽になることを思い浮かべてみる
- (例) 作業時間は、20%ほど短くしたい！

作業台の上に置いているものを半減したい！

## ◆目標をはっきりさせた後、改善案を考え実施していく

- ・現場改善は、絶対に失敗がない
- ・上手いかなければ、とりあえず元に戻せば良い
- ・もう一度、上手いいくように改善案を考える

# 【6】良くなったことを確認しましょう

## ◆少し変わってきたと感じられたら、良くなったことを確認する

- ・最も重要なのは、「楽になったか？」ということ
- ・会社から帰る時の疲れ、肩や腰の痛みが減ったと感じるか？
- ・「何となく楽になった」と思える ⇒ 必ず楽になっている

## ◆目で見える確認を行う

- ・改善前に撮った写真と比べてみる
- ・作業台の上に置かれてものの点数を比べてみる  
⇒3Sができていると、必ず、工具や文房具が少なくなっている
- ・もっと狭い作業台でも大丈夫になっているのでは？

## ◆改善前の作業の動画があれば、もっと分かりやすい

- ・「あれどうして？」と思う作業が見つかる
- ・自分の作業とは思えないような、ムダな動きが見える
- ・この動画を見ると、さらに改善の効果を感じることができる

# 【7】数字で確認しましょう

◆良くなったことを、「数字」で確認してみる

- ・あなたが使っている日常の数字が良い
- ・「成果の見える化」という

◆「歩数」⇒ 歩数計をつければすぐに分かる

- ・改善前にも、2～3日、歩数計をつけて測定しておくこと
- ・歩数が少なくなると、身体も楽になった感覚が強くなる
- ・実際にも、必ず楽になっている

◆「時間」⇒ 簡単にスマホのアプリで時間が正確に測定できる

- ・毎日、行っている作業を測定してみる
- ・ムダな作業がなくなるので、必ず早くなっている
- ・1日の生産分だと大きな時間短縮 ⇒ 大きな成果

◆その他、しゃがむ回数、振り返る回数、背伸びする回数も良い



# 【8】良い状態を記録しましょう

- ◆改善を進めても、そのままにしておくと、崩れてしまう
  - ・他のメンバーが、あなたの改善の目的を理解していないから
  - ・誰が見てもあなたの現場改善が分かるようにすれば良い
- ◆「標準化」⇒ あなたが改善を行った良い状態を記録すること
  - ・整理清掃で行った「定位置を見える化」を行う
- ◆作業を記録することを、「作業の標準化」という
  - ・「作業手順」と、「作業時間」を決める
  - ・誰が行っても、同じ手順で、同じ作業時間でできることが理想
  - ・作業手順を、作業手順書などに書くか、作業を動画に撮る
    - 右手と左手の作業を、どんな作業を行うのか分かるようにする
- ◆標準は守るものだが、ずっと同じであるべきではない
  - ・さらに改善を行い作業手順と標準時間も見直すことが重要

# 【9】改善の見える化

## ◆あなたの改善をイラストに書いてみる

- ・決して報告書を作成するのではない
- ・自分用なので、簡単なイラストで良い
- ・改善を行った時に考えたことや工夫したことをマンガを描く
- ・あなたの改善ノウハウが、どんどん増えていく

## ◆あなたの周りの人にイラストを見せて、どんどん広げて欲しい

- ・改善の進んでいる工場では、改善集が工場に掲示されている
- ・多くの改善集が掲示されているのは、本当に楽しい
- ・パソコンでキレイに書く必要はない。上手なイラストも不要
- ・手書きで、改善のポイントをまとめているのが良い

## ◆工場を超えて現場の皆さんの改善ノウハウを共有したい

- ・楽々改善舎のホームページに「改善事例集」をUPLしている

# 【10】トップダウンで進められている時は？

## ◆うまく「会社の現場改善活動」を活用する方法

- ・経営TOPは「現場改善」を勉強し、実施しようとする
- ・外部のコンサルタントに指導をお願いする場合もある
- ・現場改善に参加すること ⇒ チャンスと考える
- ・あなたが考えている改善内容を進めれば良い  
(コンサルも細部は分からないため)

## ◆経営TOPが言っているので、改善費用も出してくれる

- ・トップダウンを、うまく使った方が得
- ・報告をさせられるが、あなたの報告が経営TOPの目にとまればさらにやりやすくなる
- ・たいてい、改善が進んでいると、ほめてくれるもの

## ◆経営TOPがやる気になった時には、現場改善に参画すべし

# 【11】プロジェクトで推進されている時は？

◆経営TOPは、プロジェクトで進めようとする

- ・プロジェクト・リーダーを任命
- ・いくつかのプロジェクト・チームを作り推進リーダーに推進を任す
- ・「推進リーダー」や改善担当に立候補して欲しい

◆だいたい、現場の皆さんはプロジェクトには無関心

- ・「8:2の法則」というのがあり、8割の人は無関心
- ・やりたくない言い訳
  - 「そんなことは、昔やって失敗した」
  - 「そんなことは、我々のやることではない」
  - 「話しは分かるが、そんなことはできない」

◆やりたがらないプロジェクトをやってくれるので、好意的になる

- ・手伝ってくれる ⇒ 自信を持ってあなたの改善案を進めていく

# 【12】モデルラインで進められている時は？

## ◆モデルラインで進めることが多い

- ・工場全体をすぐには把握できないため
- ・モデルラインにパワーを集中すれば、早く改善が進むため
- ・モデルラインで上手いけば、横展開を行う

## ◆あなたのラインをモデルラインに立候補する

## ◆モデルラインで進めるメリット

- ・経営TOP、コンサルタント、工場の皆さんの目が集まる
- ・工場の皆さんが改善案を考えて、実施のために手伝ってくれる
- ・改善のための費用も出る

## ◆モデルラインはパワーを集中するので、どんどん変わっていく

- ・工場の皆さんに、手伝ってもらえる
- ・一番難しいのは、「横展開」⇒ 最初に実施する方が楽しい

# 【13】改善は進んでいますか？

## ◆現場改善の「進捗の見える化」

- ・どこまで進んでいて、どの位で目標まで達するかを知っておく
- ・プロジェクトの場合、プロジェクト・リーダーが作成してくれる

## ◆一人で行う時には、スケジュールを立てずにスタートしてしまう

- ・推進スケジュール(計画)を立案することが重要
- ・今月は何をしようかという、月次目標を手帳にでもメモしておく
- ・3か月分くらいは、書いておきたい

## ◆月末に、あなたの感覚で「○ △ ×」の評価を行う

- ・もし、×だったら、来月にその内容をシフトする
- ・何故できなかったのかもメモしておけば分かりやすい
- ・決して無理のない計画を考えること

## ◆「計画を立てて推進」=「有言実行」で改善を進めることが重要

# 【14】必ず反対する人が出てきます

◆組織で現場改善を推進する場合、必ず反対する人が出てくる

- ・経営TOPが推進しても、プロジェクトで行っても同じ
- ・推進リーダーを任されると、この反対者の対応に心を痛める
- ・その現場の古参の人たちが、反対者になることが多い

◆反対者を敵にしないことが重要

- ・敵になると、戦いになってしまうので、これだけは避けたい
- ・敵にしないのと同時に、味方にもなってもらわない方がよい
- ・反対者と議論することは得策ではない

◆8割の無関心層の中からも、手伝いだす人が現れる

- ・現場改善がうまくいきたした時に、手のひらを返したように、興味を示す人は要注意

◆一人で現場改善を進める場合は、こんな心配は不要

# 【15】継続が最も大きな力になります

## ◆現場改善は、継続が最も大きな力になる

- ・プロジェクトの場合、困ったことは、経営TOPの心変わり  
成果が見えるようになるまでに、待てない経営TOPが多い
- ・プロジェクト名が変わっても、「あなた流の現場改善」を進める
- ・あれこれはじめるとはではなく、継続することが重要

## ◆人はどんな時に力が出るのか？

- ・自分のやっていることが認められること ⇒ 強い推進力になる
- ・認められるとは、「上司がほめる」「経営TOPにほめられる」
- ・最も嬉しいのは、「お客様にほめられる」
- ・経営TOP、上司は、現場の状態を正確に把握してほめて欲しい

## ◆改善には失敗がない。上手いかないだけ

- ・上手いかなければ元に戻し、さらに良い改善案を考えれば良い